大分市立稙田小学校　学力向上プラン（令和４年度８月）

取組番号④

Ⅰ　児童の状況

○学習面に関して

・５年生では、国語の正答率（知７４％・活５７％）が目標値や県平均より高かった。「書く」領域は低かった。算数の正答率（知７２％・活５５％）で目標値は達成していたが県よりは低かった。特に「図形」領域の作図ができなかった。
・６年生では、国語の正答率は６５％で全国と県平均より低かった。特に「書く」「読む」領域が低かった。算数では正答率６５％で全国・県よりは少し高かった。領域では「変化と関係」で比例ができていない。
・理科の正答率は５年・６年とも県よりも少し低かった。

○生活面に関して

・児童の８８％が学校を楽しいと感じていた。（保護者９４％）基本的生活習慣（早寝・早起き・朝ごはん）の定着は児童が８５％保護者は８７％昨年より下がっている。
・あいさつについては、児童は９０％、保護者は８６％であるが、「あさがおあいさつ」ができているとは言い難い。
・家庭学習については、児童は９６％取り組めていた。（保護者は８９％）未提出児童は学校で必ず学習させた。
・友達関係は94%の児童は声をかけたり、助け合ったりしていた。QU の結果を分析して各学級で取組を考えた。

Ⅱ　指導改善のポイント

○学習に関して

・授業形態、教材教具などの工夫
・「めあて」「課題」「まとめ」「振り返り」の工夫
　課題の焦点化、課題とまとめの一体化
　自分の成長や友だちのがんばりに気づける振り返り
・考えを深めるための手立ての工夫発言しやすい雰囲気作り
　ペア・グループ活動　子どもの発言をつなぐ
・「自己決定」「自己存在感」「共感的な人間関係」を取り入れた授業展開
・個別の指導が必要な子どもへの補充学習
・稙田小スタンダードの徹底（学習規律）
・ＩＣＴ機器を活用した授業実践

○生活に関して

・基本的生活習慣の確立（早寝・早起き・朝ご飯）を継続して家庭へ働きかける。（遅刻児童の支援）
・心育て、認め支え合う集団づくりの取り組みとして人間関係プログラムを取り入れる。
・ハートの花や学級活動などで自尊感情を高める。
・いじめのない学校づくり（QU の活用）
・行事や特別活動による役割を積極的に果たす。
・あさがおあいさつの徹底（児童会）
・きれいな学校を目指した無言清掃の徹底
・休み時間に「わさだっ子毎日一運動」や外遊びを楽しむ。（コロナ禍でできる範囲で）

Ⅲ　めざす児童像

学校教育目標に基づく子ども像

よく学び、すすんで実践する　心豊かな　たくましい稙田っ子の育成

（授業改善による基礎・基本の定着と学力向上に関する取組項目）

①　９０％以上の児童が「授業がわかった」と感じる授業を行う。
②　９０％以上の授業者が、「主体的・対話的で深い学び」を意識した授業改善を行う。
③　９０％以上の児童が、家庭学習を提出できる。

（１）　学力向上のための校内体制

○実態に合った授業形態及び個別指導を行い、Ｃ層の子どもたちの平均点を５点上げる。
○「課題」「まとめ」「めあて」「振り返り」を位置付ける。（誰もが向き合える「課題」、学びに生かせる振り返り）
○ペアトークや小グループ討議で、自分の考えを伝え合う場を授業の中に設定する。
○「稙田小スタンダード」の共通理解と実践の徹底を図る。
○学力保障の立場から校内研修で取り組む人権教育の役割を重視して、組織的（学年・分掌で共通理解）な取り組みを進めていく。
○ＩＣＴ機器を活用した授業実践を推進する。
○各担任の授業力向上を図る。（チームによる教材研究）

（２）　学力向上対策

○対話（話す・聞く）を意識した授業作り
　・結論に至るまでの過程を重視した授業作り
　・思考ツールの活用（考えの視覚化）
　・ＩＣＴの活用（考えの視覚化）
　・話し合いのルール作り（進め方）
　・系統性の共通理解
○授業にできるだけ「書く活動」を取り入れる。
○課題とまとめを明確にした１時間完結型授業
○図書（室）を活用した授業実践や読書の推進
○基礎・基本の定着に向けた朝の活動の効果的運用
　チャレンジタイム＜毎週金曜日に国・算交互に＞
○小中一貫教育の推進
　・義務教育９年間を見通した系統的な教育を行い、「確かな学力の向上」を推進する。
○補充指導・個別指導の充実
　・休み時間、放課後等の補充指導や個別指導
　・「学習支援員」の人材の活用

（３）学校・家庭・地域と連携した「協働」の取組み

○家庭学習時間の確保、学年×１０分以上、実態に応じた家庭学習内容の充実
　→（家庭）毎日、家庭学習のチェックを行う。
　　または家庭学習をしたか声かけを行う。
○基本的生活習慣（早寝・早起き・朝ご飯）の確立
○「共育」のための情報発信（学校便り・学年通信等）
○地域教材・人材の活用、地域に出かける活動
○日記を書く習慣付け（３～６年生活ノート活用）